

戸開走行保護装置  
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

|             |         |             |         |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 認定番号        | UCMP 型式 | 認定番号        | UCMP 型式 |
| ENNNUN-2042 | DBG-1   | ENNNUN-2046 | DBG-5   |
| ENNNUN-2043 | DBG-2   | ENNNUN-2047 | DBG-6   |
| ENNNUN-2044 | DBG-3   | ENNNUN-2048 | DBG-7   |
| ENNNUN-2045 | DBG-4   |             |         |

発行：平成 30 年 6 月 25 日 Ver. 2

|   | 検査項目      | 検査事項           | 検査方法   | 判定基準  |
|---|-----------|----------------|--|---|
| (1)   | 安全制御プログラム | 型式             | 安全制御プログラムの型式を確認する。(目視にて基盤の型番の確認又は保守ツールによる確認) | 基板の型式が指定された型式と同一でないこと。<br>プログラムが大臣認定を受けた型式と同一でないこと。               |
|   |           | 作動の状況          | ドアゾーン外で走行中に戸開状態にして模擬した場合の動作を確認する             | 戸開走行保護装置が作動しないこと。<br>電動機及びブレーキの励磁コイルが電源から遮断されないこと。(UCM2,UCM1)     |
| (2)   | つま先保護板    | 取付けの状況         | 目視及び触診により確認する。                               | 取付けが堅固でないこと。  |
|   |           | 長さ             | かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。                   | 規定値未満であること。<br><b>675 mm</b>                                      |
| (3)   | 特定距離感知装置  | 取付けの状況         | 目視及び触診により確認する。                               | 取付けが堅固でないこと。<br>過度の変形があること。                                       |
|   |           | 動作位置           | 動作位置を確認する。                                   | 規定位置で動作しないこと。<br><b>±75mm ±10 mm</b>                              |
| (4)   | 部品        | 規定部品の型式        | 目視により確認する。                                   | 規定部品の型式が適正なものでないこと。   |
|   |           | 規定部品の交換基準      | 目視及び触診により確認する。                               | 規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。<br>UCM1,UCM2：400 万回又は使用年数 10 年       |
| (5)   | 巻上機       | 制動面の油の流出状況     | 目視により確認する。                                   | 制動面に油が付着していること。   |
|   |           | 油排出場所の油の流出状況   |  | シール部から油が流出していること。   |
| (6)   | ブレーキ      | パッドの厚さの状況      | 可動制動板とコイルケースの隙間を測定する。                        | 隙間が <b>0.4mm</b> を超えること。(要重点点検)<br>隙間が <b>0.45mm</b> を超えること。(要是正) |
|   |           | パッドの状況         | 目視により確認する。                                   | パッドに欠損、割れがあること。又は剥離していること。  |
|   |           | ブレーキパッドの動作感知装置 | ブレーキ開放時及び締結時の動作感知装置の接点信号動作を確認する。             | ブレーキの開閉と接点信号動作が一致していないこと。   |
|   |           | 制動力の状況         | 両側ブレーキによる無積載上昇時のかご停止距離を測定する。                 | 停止距離が規定距離を超えること。  |
| 上記 (1) ～ (6) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」および別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。 |           |                |  |   |

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
 著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社